


市長のタウンミーティング 上中島地区

(敬称略)

	開催日時 平成29年10月20日(金) 19:00～20:20	
	会場 上中島公民館	
	参加人数 34名	
	開会挨拶 上中島地域振興会長	河口利春
	書記	赤坂喜英

市政への提案、意見

番号	地区名	項目	内容
1	上中島	まちづくり	魚津市総合体育館・プールがいずれは閉鎖されると聞いておりますが、そのあとはどうなるのか。また、グラウンドを将来的にどのように活用されるのか。現在も利用されている方が多い。グラウンドをさらに拡充して活用されるのかお聞きしたい。 また、移転や拡充があるとして、いつ頃になるか目処があれば、お聞かせください。
2	上中島	教育環境	スクールバスの問題について、通学路に問題があるのではないかと考えております。歩道の整備ができておりませんし、そう簡単に歩道整備ができるとは考えておりません。安全安心・保護者に心配掛けないとすると、全員スクールバスという方向でお願いしたいと考えております。特に冬場など、子供が被害に遭うのはもちろん大変なことです。こちらも車を運転する側ですから、加害者になりかねません。基準にこだわらずに、もう一台バスを用意していただければ、安全・安心の子育てになると思います。
3	上中島	まちづくり	学校統合後の廃校舎についての活用方法というのはもう決まっていますか、教えてください。
4	上中島	子育て	学童保育について、両親が働いていて同居の姑・舅が働いていないと学童でみてもらえない。仕事はしていないが趣味はしている等の祖父母は、孫に縛られるという状況が発生している。子供の方をみると友達と遊びたがる。学童の受け入れの垣根をもっと低くしていただけないか。
5	上中島	まちづくり	小学校舎の利活用については、公民館に利用できないかという話があります。しかし管理費が地元求められるのでないかと一番心配しております。建物の管理等はどのような格好になるのか、教えてください。
6	上中島	その他	百楽荘が老朽化で解体されると聞いております。今後ますます高齢化が進む中、このような施設を利用する方も増えてくるかと思えます。上中島の高齢者も市民バスを使って「百楽荘」へ行くことを楽しみにしています。これが痴呆防止ですとか、自分で出かけようという気持ちなど、非常に活力を与えています。ぜひそこら辺りも考慮していただきたいなと思えます。
7	上中島	まちづくり	魚津駅を中心にした新しいプランというのは進んでいるのでしょうか

平成29年度 市長のタウンミーティング実施報告書

地区名	上中島地区	日時	10月20日(金) 19時00分より 20時20分まで	参加者数	34名
会場名	上中島公民館	司会	企画政策課 上田 哲也	書記	農林水産課 赤坂 喜英
市側の出席者	市長 村椿 晃 企画総務部長 川岸 勇一 企画政策課長 赤坂 光俊 ほか		地区からの 主な参加者	振興会長、各地区区長、老人クラブ会長 PTA 役員、学校長、等	

1. あいさつ

地域振興会長 川口利春

2. 市長談話

市長 村椿 晃

魚津市の現状、「子育て」「教育環境」「まちづくり」について

- 衆議院選挙の投票率について（投票啓発）
- うおづのうまい水モンドセレクション最高金賞受賞について
 - ・水道水について
- 人口について
 - ・住み良さランキング（東洋経済新報社）について
 - ・魚津市の現状・将来予想
- 上中島地区電気柵設置状況について
- 子育て支援について
 - ・安心して産み育てる環境の整備
 - ・仕事と家庭の両立等
 - ・経済的負担の軽減
- 教育環境について
 - ・小学校英語教育の推進
 - ・教育用 I C T 環境整備
 - ・通学の安全、安心対策
 - ・ふるさと教育
- まちづくりについて
 - ・定住、空家対策
- 災害に強いまちづくりについて
 - ・ハード対策
 - ・情報伝達体制の強化
 - ・防災力の向上
- 健康寿命の延伸について
 - ・魚津市民の健康（がん死亡率等）

3. 意見交換（地区からの振興策等の提言・提案等について）

○魚津市総合体育館・市民プールの活用について（まちづくり）

魚津市総合体育館・プールがいずれは閉鎖されると聞いております。おそらく老朽化からと思われませんが、その次は、どのようにお考えであるのか。また、グラウンドを将来的にどのように活用されるのか、現在も利用されている方が多い、グラウンドをさらに拡充して活用されるのか、お聞きしたい。

また、移転や拡充があるとして、いつ頃になるか目処があれば、お聞かせください。

（村椿市長）

まず、プールの方は、昨年度末か今年度当初に検討委員会から建議をいただいて、移転をして整備する方が良いということで、それに基づいて、実際にどんなことができるか検討中です。おっしゃるとおりプールについては、別の場所になる可能性が高いと思います。要は一带をどうするかという話になりますが、いろんな可能性があると思います。同じプールを残すということはないと思いますが、市民の健康面や運動面に着目する施設というのも一つだし、場合によっては、少し違って産業的な施設・機能にするということも考えられます。その場所のありようについては幅広い選択肢があります。私もいくつかの可能性を内々に検討していて、国の関係機関や民間に打診していますが、まだ皆さんにこういうものだと言える段階ではないです。ただ、魚津市としては、あそこの場所を生かさなければならぬものですから、プールがなくなってそれで終わりというわけにはいかないと考えております。明確な方向性を今申し上げられる段階ではないですけども、私の思いとしては、魚津の中心でもあるものですから、より生かせる場所にしたいと考えています。なお、時期については、先ほどいった産婦人科の話し等も含め、実際に動いていかなければならぬものが多数あります。ですからできるだけ早くとは思っていますけど、申し訳ありませんが、現状明確にいつまでとは言えない状況です。

○小学校統合後の通学路整備・スクールバスの運行について（教育環境）

先般スクールバスの問題について、市の担当の方から小学校4年生以下、保育園の年長・年中の親御さんを中心に説明がありましたけれども、私どもとしては、通学路に非常に問題があるのではないかと考えております。よつば小学校や清流小学校と比べたときに、歩道の整備ができておりませんし、現実的な問題としてそうそう簡単に（歩道整備が）できるとは考えておりません。そういったことから、安全安心・保護者に心配掛けないとなると、極端な話し全員スクールバスという方向でお願いしたいと考えております。特に冬場などを考えますと、子供が被害に遭うのはもちろん大変なことではございますが、こちらも車を運転する側ですから、加害者になりかねません。そういったことから基準にこだわらずに、もう一台バスを用意していただければ、安全・安心の子育てになると思います。

（村椿市長）

おっしゃるとおり全部したいところですが、正直なところ、今の3kmという線を崩してしまうと、どこでもそうしなければならなくなります。一応基準を決めた以上は、それをベースに考えざるを得ないと思います。では、子供の安全をどうするのか。例えば、小さい子、あるいは体調・体力的にハンデがあるとか、季節・気候の問題もあるでしょう。ですから配慮しなければならない子供への安全というのは、スクールバスの全部運ぶということとは別に考えなければならないと思います。

同時に通学路ですが、自分の足で通える環境は一日でも早く整備してあげたいと思いま

す。県や国の方にも要望しているところで、それを全力でやりつつ、冬場等で対応が必要なことについては、真剣に考えて検討したいと思います。

○小学校統廃合後の廃校舎の活用について（まちづくり）

学校統合後の廃校舎についての活用方法というのはもう決まっていますか、教えてください。

（村椿市長）

廃校舎については、基本方針は、地域の方に活用の考え方の検討をお願いし、それを踏まえ、どのようにしていくかとなっています。市の方でこの学校はこのようにするというアプローチはしないということになっているので、地域の皆さんの意見を聞かせてもらいたいと思います。その上で、その地域の特性があるので、こういうのはどうですかということは、協議の中でお話しをしていきたいと思います。なによりも学校は交流の中心でありますので、そこを生かして、地域の人はもちろん、地域外の人もゆったりと過ごせるような場にできないかなと思います。

一例ですが、片貝小学校は、いろいろ大きな事を考えています。今は公民館だけだけど、できれば移住者など外から来る人がお試しで片貝を楽しむための一時的な受け入れ施設にできないかとか、あるいは大学生等が合宿するための受け入れ施設にできないか等を考えています。その地域だけじゃなく、魚津全体を考えたときに、この場所はどのような役割を担うのかということも考えなければいけません。町の中の学校、中山間の学校、いろいろ特色あるものですから、そういったものを生かしたまちづくりを考えなければいけないと思います。しかし、やはり地域の中心なので、地域の皆さんが、若い人も年配の方も赤ちゃんも集えるような、そういう場づくりを進めていきたいと思います。

○学童保育について（教育環境）

子育て支援の学童保育のことについて、今現在は両親が働いていて、同居の姑・舅が働いていないと学童はみてもらえない。そうすると仕事はしていないけど、趣味はしている等の祖父母は、孫に縛られるという状況が発生している。一方子供の方をみると友達と遊びたがる。だけど子供の数が少ないから、一人でそこまで行くことができにくい状況があって、なかなか難しい。そういうのをひっくるめると、学童の受け入れを、垣根をもっと低くしていただけないか。まして学校が少なくなっていく状況では、今後どうなるのか不安である。

（村椿市長）

これまでの日本の制度の仕組みにあるのは、家庭とか家族とかのサポート力というか、それを前提にした仕組みが多い。家に面倒を見る人がいないところをカバーするという国の制度が多いです。保育園はその最たる例で、保育に欠ける子供を保育する。これは、全部面倒見るという施設を作ると、相当の人とお金が必要なるからということでもあります。しかし、おっしゃるように、これから人口が減って、子供も減って、お父さんもお母さんも、場合によっては、おじいちゃんもおばあちゃんもみんな働く時代に、どういうふう子供を育てる環境をつくるかは国としての問題です。だから首相は、消費税をその対策に充てていくといっています。国の財源をそういうところに振り向けていかなければならない時代に入っている。おっしゃるとおりなのですが、これを魚津市単独でがんばれと言われてもなかなか難しいのが現状です。ですから国の方を動かして、面倒見る人がいようがいまいが、子供の居場所なり、子供をしっかりと社会で預か

っていく、そういう仕組みを作っていかなければならないと思っています。市でどこまでできるかわかりませんが、まず国の方にも働きかけなければならぬし、市のほうでなにか一部でもできる取組があれば考えなければならぬと思っています。日本全国同様の問題だと思います。しっかり考えていきます。

○小学校統廃合後の校舎管理について（まちづくり）

小学校舎の利活用については、市からも提案がありまして、私どもも振興会の役員会で検討しております。その中で小学校を公民館に利用できないかという話があります。その中で懸念しているのは、管理のことですが、管理費が地元求められるのではないかと一番心配しております。プールの方は、更地になると聞いております。それもアスファルト舗装しないのであれば、草が生えてくる心配もあります。そこで聞きたいのは、建物の管理等はどのような格好になるのか、教えてください。

（企画総務部長）

基本的には、これからお話しさせていただくことになりますが、西布施（小学校）の例を申しますと、西布施は校舎が耐震補強されてなかったため、思い切って解体しました。それで体育館はそのまま残して使って、新たに平屋の500㎡未満の公民館を造って、小川寺に今ある公民館を壊すことになりました。市の施設ですから基本的に管理費は市で負担しています。地元負担を求めるといことはしていません。草刈が必要なら市の維持管理費でということになります。ただ、これからは全部市でということではなく、地域と一緒に協力できるところは協力していただいて、例えばちょっとした草刈等は地元ですというような関係には今後していかなければならないと思います。基本的には市で費用は負担しております。上中島も今後どのようにしていくかを相談させていただきますので、よろしく願いいたします。

○高齢者の健康づくりについて、「百楽荘」の老朽化について（まちづくり）

上中島も非常に高齢化率が高くなっていますが、そのたくさんいらっしゃる高齢者の皆さんが非常に楽しみにしているのが、市民バスを使って「百楽荘」へ行くということです。これが非常に痴呆防止ですとか、自分で出かけようという気持ちなど、非常に活力を与えてくれるのかなと思います。

平成31年3月末頃に百楽荘の入っている建物自体が老朽化ということで、解体されると聞いております。その後の施設整備に関しては、会合の中で聞いておりましたが、市社協自体も歯切れの悪い返答をしている。今後ますます高齢化が進む中、このような施設を利用する方も増えてくるかと思えます。もちろん子育てが一番大事だと思いますが、是非高齢者も大事にさせていただいて、人と交流する、出かける、そういう気力を半年でも1年でも延ばすことができれば、市の介護保険の会計も少しは助かるのではないかと考えておりますので、ぜひそこら辺りも考慮していただきたいなと思います。よろしく願いいたします。

（村椿市長）

今の高齢化の現状を踏まえると、そのあたりのケアをしっかりとしていかなければならないと思います。さきほど健康づくりの話申しましたが、あの中には実はこういう問題も含まれております。

しかし、百楽荘、福祉センターの件は、既に公共施設のプランの中で、解体は決まっています。それに代わる高齢者の交流や生きがい作りや健康づくりの機能というのは絶

対必要なものですから、それをどのようにしてやっていこうかというのをさっきの健康づくりの施策の中で考え始めています。いつ頃どのようにしていくというのを言えばよいですが、これは議会の方とも相談しなければならないので、どういうプランで高齢者の健康づくりに向けてやるかというのをしっかり考えて、また提示していきますので、よろしくお願いたします。

○魚津駅周辺整備プランの進捗状況について（まちづくり）

魚津駅を中心にした新しいプランというのは進んでいるのでしょうか

(村椿市長)

そのプランの話しについては、今年の7月に魚津駅周辺街づくり協議会というのを立ち上げて、計画を作る作業が始まったところです。駅だけでなく、駅の近くに人が利用する施設なりを再配置する等を同時に進めていかないと、駅の整備というのは意味がないと考えています。交通事業者にとってもメリットになる必要があります。ですからホームを移設するだけでは駄目で、公共の施設・民間の施設の再配置と併せて、一体でプランを作ることになりますから、2年くらいかかります。議会にも報告しておりますが、市民の皆さんにも分かるように情報を伝えていきます。